

日立誘導灯器具
(避難口・通路兼用)HITACHI
Inspire the Next

A級: YEN44301-EN (片面灯)

適合ランプ

日立冷陰極ランプ: CF220T4ENL

このたびは日立誘導灯をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

お客様へ

- この器具の取付工事は必ず電気工事に依頼してください。
- 一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ

- 工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

工事店様へ

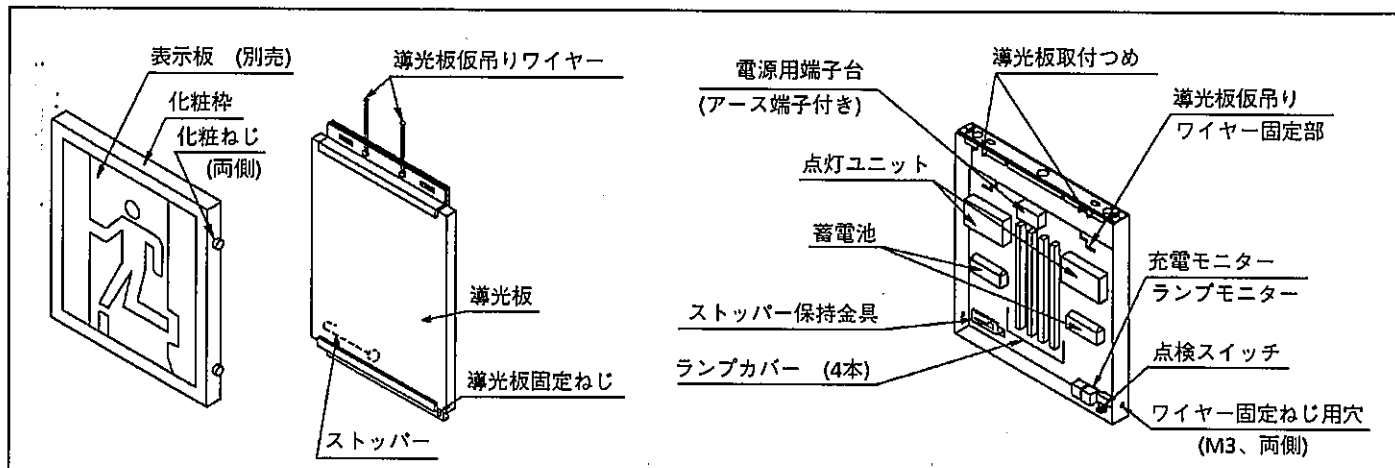
施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
器具の取り付けは、質量の耐える所に、本体表示並びに取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。取り付けに不備がありますと器具落下、火災の原因となります。 ⚠ 取り付け重量	この器具は、断熱施工不可です。断熱施工される場合、取扱説明書に従った特別な施工が必要です。そのまま施工されますと火災の原因となります。 ⚠ 断熱施工	この器具は、腐食性ガス雰囲気場所には使用できません。そのまま使用しますと、変質、変色、絶縁不良、器具落下の原因となります。 ⚠ 腐食性ガス
器具を改造したり、部品の追加、ランプおよび蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。器具落下、感電、火災の原因となります。 ⚠ 改造	この器具は、防湿形ではありませんので、湯気、湿気の多い場所には使用できません。湿気の侵入による絶縁不良、感電の原因となります。 ⚠ 湿度	この器具は、振動の激しい場所には使用できません。そのまま使用しますと、器具落下の原因となります。 ⚠ 振動の激しい場所
電源線接続の際は、取扱説明書の「器具の取付方法」に従って行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。 ⚠ 電源線接続	アース工事は、電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。(D種(第三種)接地工事) ⚠ アース工事	この器具は、屋内専用ですので、風が吹く場所には使用できません。そのまま使用しますと器具落下の原因となります。 ⚠ 風

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
この器具は、周囲温度5℃~35℃以外では使用しないでください。高温で使用しますと火災の原因となります。 ⚠ 温度	表示された電源電圧(AC100V±6%)以外で使用しないでください。間違えて使用するとランプ、点灯装置の短寿命、火災の原因となります。 ⚠ 電源電圧	この器具は、屋内専用です。屋外で間違えて使用しますと、湿気、水気の侵入により、絶縁不良、感電の原因となります。 ⚠ 屋外

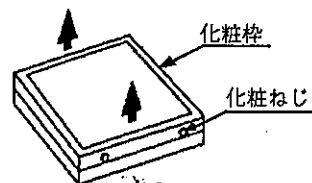
⚠ お願い		
電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。 この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通电しないまま、蓄電池のコネクタをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。	この器具を使用する際、内蔵の蓄電池が放電している場合があるため、24時間以上充電してください。	工事完了から、使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで器具を放置し、その後、蓄電池のコネクタをはずし、保存してください。

■各部のなまえ



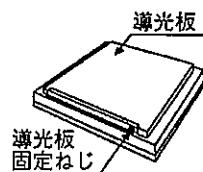
■器具の取付方法

- 1 ① 化粧ねじを4カ所外し、化粧枠を外してください。(図1)

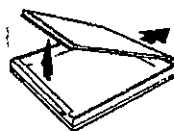


(図1)

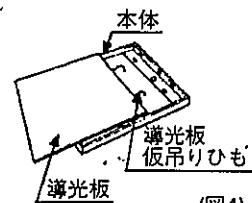
- 2 ① 導光板固定ねじをゆるめ、導光板を外してください。
(図2、3、4) 導光板表面は汚れが付きやすいため、付属のポリ手袋を使用してください。



(図2)

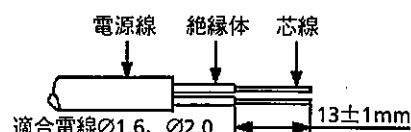


(図3)



(図4)

- 3 ① 電源線の先端をストリップしてください。
電源線のストリップは(図5)のようにストリップしてください。



(図5)

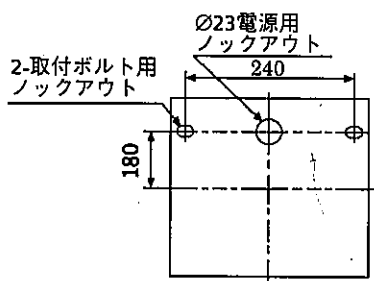
- 4 ●壁または天井に直付けで取り付ける場合

- ① 背面または上部のノックアウトをあけ付属のブッシングをはめ込んでください。
取付場所に応じて適切なノックアウト(壁直付けの場合(図6)天井直付けの場合(図7))をご利用ください。
- ② 器具内に電源線を引き込み、吊りボルトで器具を壁または天井に取り付けてください。
取り付けに不備があると器具落下の原因となります。

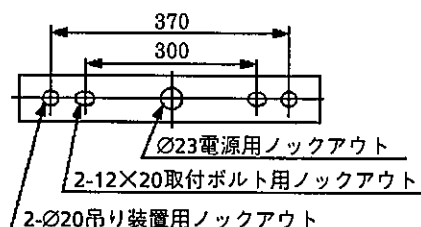
注) ボルトの器具内寸法(図8のA寸法)は40mmを越えないようにしてください。

※背面取付図

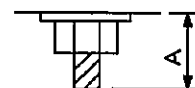
※上面取付図



(図6)



(図7)



ボルト器具内寸法

(図8)

- パイプ吊りにして取り付ける場合

注) 本器具は2本吊り専用器具です。1本では絶対に取り付けしないでください。
器具落下の原因となります。

適合吊装置(別売)

- ・JPW315M、JPW515M
- ・JPW316M、JPW516M

- ① 吊装置のサポート部を天井に取り付けてください。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
- ② 本体上部の吊り装置用ノックアウトをあけて、器具内に電源線を引き込んで器具を吊り装置に取り付けてください。(図7)
- ③ パイプをフランジ部に引っ掛けてロックナットで確実に固定してください。
不備があると器具落下の原因となります。

- 風、振動等により器具が揺れる場合は、本体のワイヤー固定ねじ用穴(M3×2、各部のなまえ参照)を利用して揺れ止めをおこなってください。

■器具の取付方法

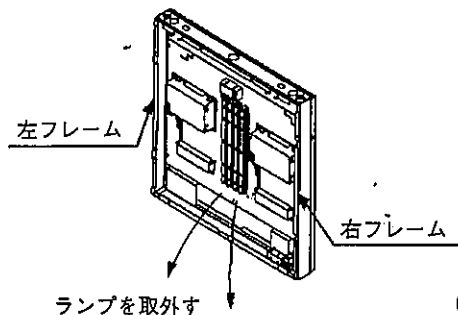
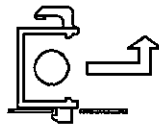
- 5** ① 電源線を電源用端子台に接続してください。
- ② アース線を用いてD種(第三種)接地工事を施してください。
取り付けに不備があると感電、火災の原因となります。

注) 電源線・アース線を接続後、余分な電線は電源穴から押し戻してください。

- 6** ① 器具本体からランプカバーを取り外してください。(図9)
(ランプはランプカバーに装着されています。)

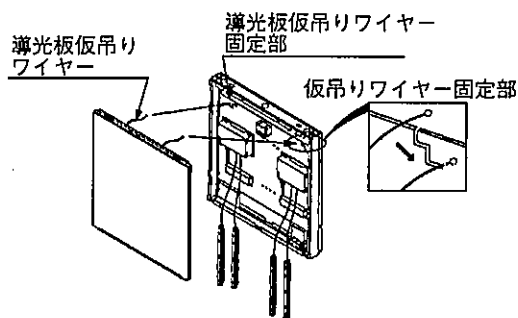
※ 両面灯の場合、ランプカバーは表側、裏側ともに左右フレーム部に取り付けてあります。

ランプカバーを取り外す際は、テープを剥がして図の方向にスライドさせて取り外してください。

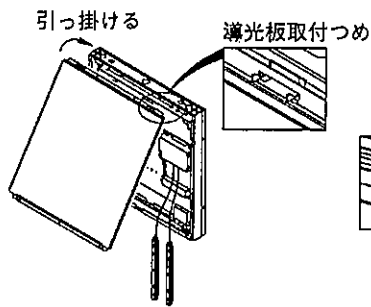


(図9)

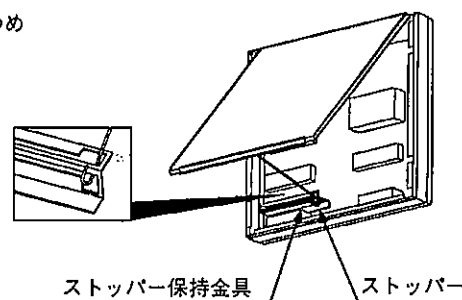
- ② 導光板仮吊りワイヤーをワイヤー固定部にかけた後、導光板を本体の導光板取付つめにかけ、ストッパーをストッパー保持金具に差込み、仮固定してください。(図10、図11、図12)



(図10)

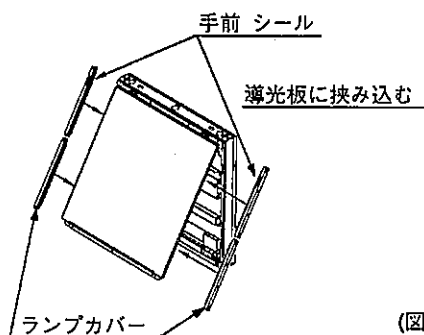


(図11)

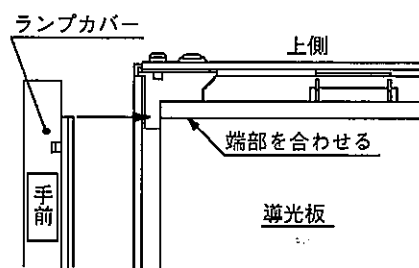


(図12)

- ③ ランプカバー左右2個ずつ計4個を、カバーに表示してある「手前」シールが前面側に向くように取り付けてください。その際、ランプカバー内部の反射板端部を導光板端部に合わせ、反射板で導光板を挟み込むように取り付けてください。(図13、図14)

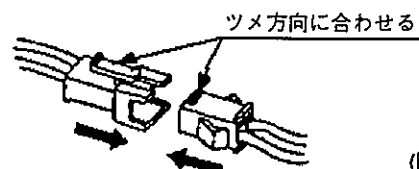


(図13)



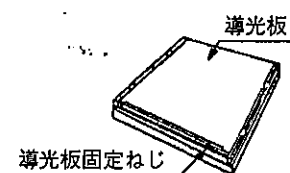
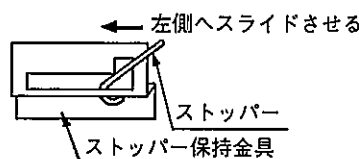
(図14)

- 7** ① 電源通電後、蓄電池のコネクタを確実に接続してください。(図15)



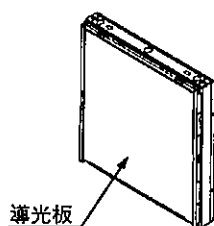
(図15)

- 8 ① ランプリード線をはさみ込まないように注意し、導光板を手前に引き、ストッパーをストッパー保持金具に沿って左側へスライドさせ導光板をゆっくり閉めてください。その後、固定ねじで固定してください。(図16)

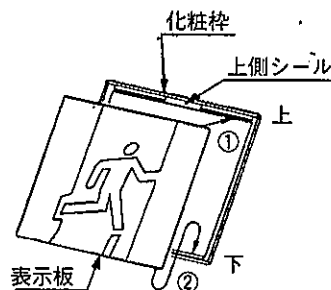


(図16)

- 9 ① 化粧枠の上下方向を確認し、適合する表示板(別売)を化粧枠にはめ込んでください。この時、上部を先に差し込み、その後下部を落とし込んでください。(図17)(図18)

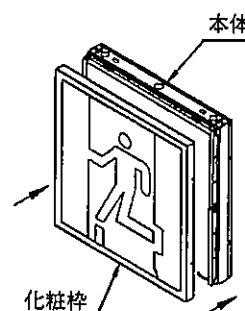


(図17)



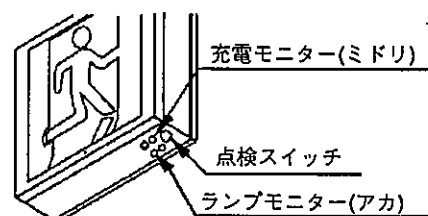
(図18)

- 10 ① ランプリード線をはさみ込まないように注意し、化粧枠を本体に化粧ねじ(4個)で取り付けてください。(図19)



(図19)

- 11 ① 付属の設置年マークを認定証票付近に貼ってください。
② 取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作するか保守と点検方法をご参照のうえ、充電モニターの点灯確認と点検スイッチを押して非常点灯の確認をしてください。(図20)

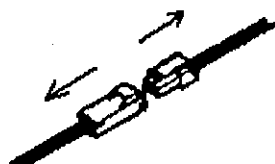


(図20)

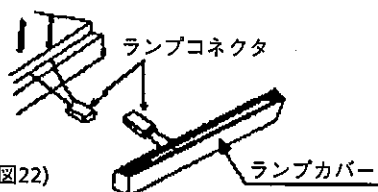
■ランプの取りはずし方法

- ① 化粧ねじを4本外し、化粧枠を本体から外してください。(図1)
② 導光板押さえねじを外し、導光板を持ち上げ、ストッパーで仮固定してください。(図12)
③ 蓄電池のコネクタを外し、電源を切ってください。(図21)
④ 導光板からランプカバーを外し、ランプコネクタを外してください。(4本)(図22)
⑤ ランプの端のリード線を持ってランプをランプカバーからはずしてください。(図23)

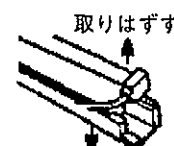
(図21)



(図22)



(図23) 取り付ける



■ランプの取付方法

- ① ランプをランプカバーに取りつけてください。(図23)
その際、ランプカバーの黒マーキング側が、ピンク色のランプリード線側となるように取りつけてください。
- ② ランプリード線をリード線押さえに掛けてください。
- ③ ランプカバーを取りつけてください... 器具の取付方法 ⑥の③
- ④ ランプのコネクタを確実に接続してください。
- ⑤ 電源通電後、蓄電池のコネクタを確実に接続してください。(図15)
- ⑥ 点灯ユニットに付いているリセットスイッチを必ず2秒以上押してください。(2個)
(赤色のランプモニターが消灯しているか確認してください。)
- ⑦ 導光板を取付けてください... 器具の取付方法 ⑧
- ⑧ 化粧枠を取付けてください... 器具の取付方法 ⑩
- ⑨ 取り付けが終了しましたら、器具が正常に動作する保守と点検方法をご参照のうえ、充電モニターの点灯確認と点検スイッチを押して非常点灯の確認をしてください。(図20)

■配線方法

- ① 器具の配線は図のように結線してください。電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅スイッチを設けないでください。
- ② 配線方法は原則として2線引配線です。3線引配線を行う場合には、所轄の消防局(庁)の了解を得てください。
- ③ 3線引配線を行う場合には、端子台に接続してある短絡線をあらかじめ取りはずして結線してください。
- ④ 電源線、アース線を端子台に確実に差し込んでください。

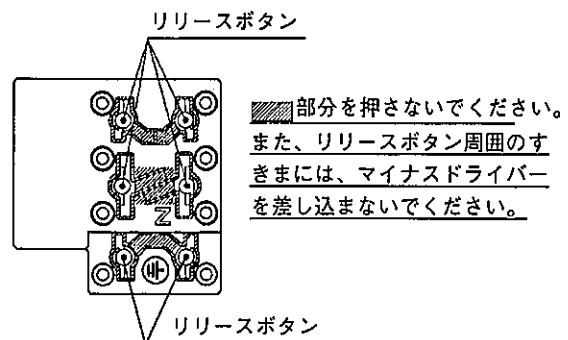
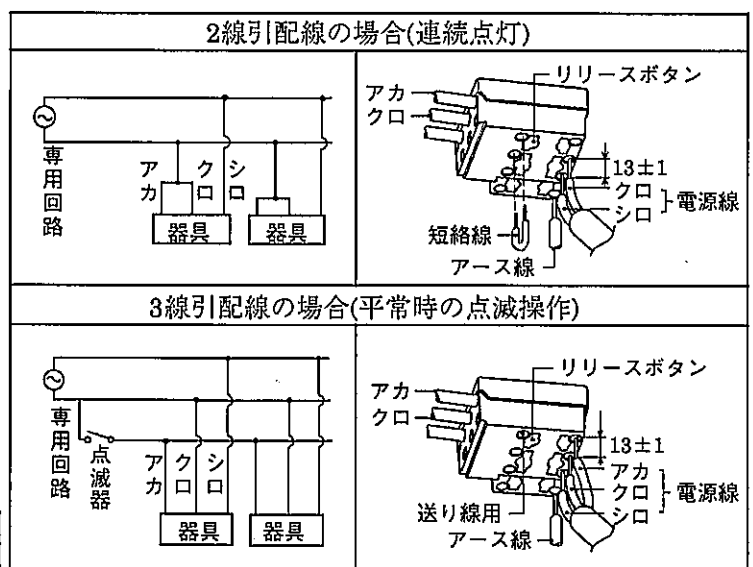
不完全な場合は、接続不良による発熱、火災、感電の原因となります。

アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。
アースが不完全な場合は、感電の原因となります。

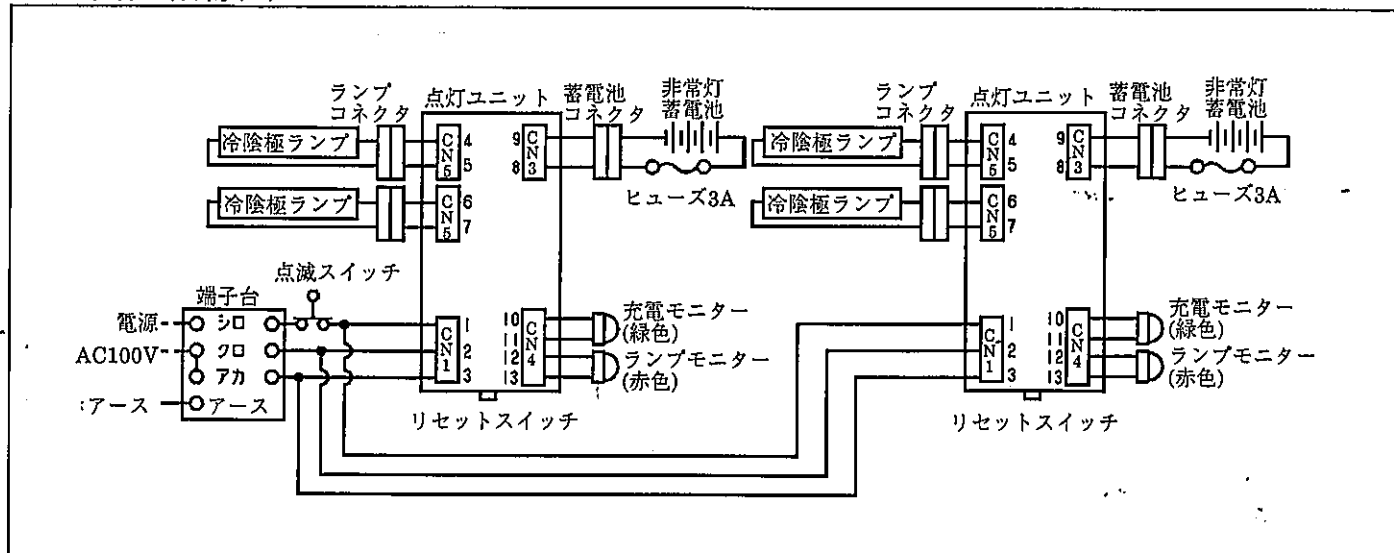
リリースする場合は、必ずリリースボタンをドライバーで押し込んで線を引き抜いてください。

リリースボタン以外をドライバーで押さないでください。
感電の原因となります。

- ⑤ 蓄電池の放電を防ぐためにコネクタははずしてありますので、ご使用の際には電源通電後、コネクタを差し込んでください。



■器具内結線図



■モニターランプ表示内容

[正常状態]

ランプモニター(アカ)	消 灯
充電モニター(ミドリ)	点 灯

[異常状態]

	モニターランプ点灯状態	考えられる原因	対処方法
ランプ モニター (アカ)	点 灯	ランプが破損している	ランプを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください
		ランプコネクタがはずれている	コネクタを接続して点検スイッチを押してください
		蓄電池の充電不足	AC100Vを通电して下さい。 ランプモニターが消灯すればランプは正常です。
充電 モニター (ミドリ)	点 滅	ランプ寿命	ランプを交換してリセットスイッチを2秒以上押してください
	消 灯	蓄電池コネクタがはずれている	コネクタを接続してください
		電源線が接続されていない	電源線を正しく接続してください
	点 滅	蓄電池の寿命	新しい蓄電池と交換してください
		蓄電池の充電不足	24時間以上充電した後に電源を10秒以上OFFして再投入してください。

注1) ランプ交換後、リセットスイッチを2秒以上押さないと正常状態に復帰しません。

注2) 点検の際には、24時間以上充電した後、20分以上電源を遮断してください。点検の結果、充電モニターが点滅した場合は必ず蓄電池を交換してください。また、次の場合には点滅動作がリセットされますのでご注意ください。

①蓄電池をはずしたとき。

②電源を10秒以上OFFして再投入した場合。

注3) 器具取り付け後および電源遮断時に充電モニターが点滅する場合があります。点滅した場合は、24時間以上充電した後、電源を10秒以上OFFして再投入してください。

注4) 蓄電池交換の際は、通電状態で交換してください。電源遮断状態で交換すると、モニターの点滅が停止しない場合があります。

■仕様

形 名		YEN44301-EN
平常時	電源	交流100V 50Hzまたは60Hz
	入力電流 消費電力	0.37A 19.5W
	光源	CF220T4ENL×4
非常時	電源	密閉形Ni-Cd 蓄電池 4NR-AC-TL (4.8V 600mAh)×2
	光源	CF220T4ENL×4
質量(表示板込)		10.0Kg

(注) 点灯直後の入力電流、消費電力は若干高くなります。

お客様へ

施工上のご注意

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。		
ランプ交換やお手入れの際は、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってからお取り替えください。感電の原因となります。	ランプ交換の際は、必ず本体表示並びに取扱説明書とおりの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。適合ランプ以外をご使用の場合には、過熱により器具が変形、変色したり火災の原因となります。	この器具に内蔵されている蓄電池を交換する際は、指定のものをご使用ください。蓄電池の分解およびリード線の切断は短絡、感電の原因となります。交換した蓄電池は捨てずに、お買い求め先にお渡しください。
⚠ 電源を切って	⚠ ランプ交換	⚠ 適合電池

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。	
この器具の平均的な寿命の目安は、使用条件、使用環境によって異なりますが、約10年です。内蔵の部品によっては、器具寿命の前に交換するか定期的に交換してください。	点灯中および消灯直後はランプや器具が高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。
⚠ 寿命	⊘ ランプ高温

工事店様へ

施工上のご注意

⚠ お願い		
ランプの端部が黒ずんだり、暗くなったときは、ランプを早めに交換してください。ランプ交換の際は、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってからお取り替えください。ランプ交換後、電源を通電し、必ずリセットスイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。	3ヶ月に1回は破損、変形などの外観点検を行ってください。 6ヶ月に1回はランプの明るさ、非常点灯持続時間、切替動作などの機能点検を行ってください。	非常点灯持続時間(24時間以上充電後、非常点灯20分以上)が20分以下の場合は、内蔵の蓄電池を交換してください。 点検終了後、点検結果を付属の点検カードに記入してください。

お手入れのしかた

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。		
器具のお手入れは、必ず蓄電池のコネクタをはずし、電源を切ってから行ってください。器具が汚れたときは、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってからふきとってください。	ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。	金属部分をクレンザーや、たわしでみがかないでください。傷ついたり、腐食の原因となります。
⚠ 注意	⊘ 禁止	⊘ 禁止

- 消防法等に定期点検義務が規定されています。万一に備えて6ヶ月ごとに、停電状態での蛍光ランプの点灯をお確かめください。
誘導灯：有効点灯時間20分以上

● 保守と点検方法

1. 光源、本体などの外観の汚れを確認してください。
2. 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
3. 充電モニターが消灯しているときは、蓄電池は充電されていません。
不点の原因を確認のうえ処理してください。
4. 非常点灯の性能をチェックするときは一昼夜以上通電し、十分充電したのち、平常電源をしゃ断して非常点灯に切り替えてください。20分経過後、非常点灯しているかどうか再び確認してください。
5. 充電モニターが点灯していないときおよび非常点灯が20分持続しないときは、確認のうえ、適切な処理をしてください。
6. ランプモニターが点滅するとランプのお取り替え時期です。
7. ランプモニターが点灯するとランプコネクタのはずれ、破損などの異常状態です。
8. ランプ交換後、電源を通電し、必ずリセットスイッチを押してランプモニターが消灯するのを確認してください。

(注) リセットスイッチは2秒以上押してください。

(注) ランプ交換時以外には、リセットスイッチを押さないでください。

(注) モニターランプの表示内容についてはモニターランプ表示内容を参照してください。

点検記録

設置年月日 年 月 日

取付場所

点検年月日	点検結果		点検者	点検年月日	点検結果		点検者
	外観	外観			外観	外観	
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			
年 月 日				年 月 日			



Ni-Cd

この製品には、ニカド蓄電池を使用しております。ニカド蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池の交換およびご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド蓄電池のリサイクルにご協力ください。

アフターサービス・・・ ご使用中、もし器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を確認のうえ修理を依頼してください。

◎日立ライティング株式会社 〒101-0041 東京千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3255-5256

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

(0010L001)B